

和漢医薬学総合研究所の概要（研究分野と研究目的）

研究部門・附属センター	教授	准教授	助教	その他 職員
1. 資源開発部門				
Department of Medicinal Resources				
生薬資源科学分野: Division of Pharmacognosy 薬用生物および伝統薬物の調査とそれらの遺伝学的、生薬学的、成分化学的、薬理学的多様性の解析を行う。遺伝子多型に基づく和漢薬の同定法を開発する。	小松 かつ子 Katsuko KOMATSU	田中 謙 Ken TANAKA	朱 姝 Shu ZHU	林 衡佑 Kousuke HAYASHI Tran Manh Hung (5/7~) 服部 征雄 (8/1~) Masao HATORI 幸 雅子 (4/1~) Masako YUKI 林 聖子 (~11/1) Seiko HAYASHI 呉 煜秋 (~3/31) Yuqiu WU 中島 和子 (~3/31) Kazuko NAKAJIMA
化学応用分野: Division of Natural Products Chemistry 和漢薬及びそれに関連する動植物の生理活性成分の分離、構造解析を行うとともに、それらの有効成分の化学的合成法を開発研究し、さらに化学構造と生理活性との相関関係を究明する。	門田 重利 Shigetoshi KADOTA	手塚 康弘 Yasuhiro TEZUKA	Suresh Awale (~12/31)	李 峰 (~11/16) Feng LI 岩白 円 Madoka IWASHIRO
薬物代謝工学分野: (3/31 廃止) Division of Metabolic Engineering 和漢薬の薬効発現に関与する腸内細菌およびその遺伝子の解明。抗エイズ、抗 C 型肝炎ウイルス薬の開発研究。霊芝、樟芝などの担子菌類の薬効評価。	服部 征雄 (~3/31) Masao HATTORI	馬 超美 (~3/31) Chaomei MA	湯 俊 (~3/31) Jun TANG	兜山 貴子 (~3/31) Takako KABUTOYAMA Ali Mahmoud El Halawany (~3/31) Riham Salah El Dine El Sayed (~3/31)
2. 病態制御部門				
Department of Bioscience				
複合薬物薬理学分野: Division of Medicinal Pharmacology 和漢薬の薬効に関する計量薬理学的な評価およびその作用機序と作用本体の解明を行うとともに、和漢薬が薬効を発現する生体の病態生理を解析する。	松本 欣三 Kinzo MATSUMOTO	東田 道久 Michihisa TOHDA	村上 孝壽 Yuki-hisa MURAKAMI (~12/31)	超 琦 Qi ZHAO
病態生化学分野: Division of Pathogenic Biochemistry 和漢薬効果に対応する体質(遺伝的要因)ならびに病態に対する和漢薬の効果を遺伝学、生化学、分子生物学ならびに免疫学など多面的に解析する。	済木 育夫 Ikuo SAIKI	櫻井 宏明 Hiroaki SAKURAI	小泉 桂一 Keiichi KOIZUMI (~9/30)	申 明淑 (4/1~) Myoung-Sook SHIN 犬嶋 明子 (4/1~) Akiko INUJIMA 林 和子 (~3/31) Kazuko HAYASHI 新井 恵子 Keiko ARAI 岡田 純子 Junko OKADA

研究部門・附属センター	教授	准教授	助教	その他職員
消化管生理学分野: Division of Gastrointestinal Pathophysiology 消化管疾患, 特に腸管免疫性疾患の病因および病態形成機序を解明し, それに基づき和漢薬等を含めた新規治療薬の創出を目指す。	門脇 真 Makoto KADOWAKI		山本 武 Takeshi YAMAMOTO 影山 夏子 (~3/31) Natsuko KAGEYAMA 林 周作 (6/30~) Shusaku HAYASHI	Kanwal Ahmed 坂田 清華 Kiyoka SAKATA
機能情報解析分野(客員): (4/1 設置) Division of Biomedical Informatics 伝統薬物が治療対象とする未病状態の生体機能や生体反応調節物質として伝統医薬品の機能に関する情報を統合医学的に解析することにより未病を治療する薬理学的的方法論を確立する。	宮田 健 (客員) Takeshi MIYATA (4/1~)			
3. 臨床科学部門 Department of Clinical Science				
臨床利用分野: Division of Clinical Application 天然薬物(特に魚油中の EPA, DHA)の作用機序の解明とその臨床利用。末梢での炎症反応に起因する脳機能の変化を病態としてとらえ, これを標的とした和漢薬の新規作用機序を明らかにする。	浜崎 智仁 Tomohito HAMAZAKI	渡辺 志朗 Shiro WATANABE	長澤 哲郎 Tetsuro NAGAZAWA	浜谷 裕子 Hiroko HAMATANI 武部 鎮子 Shizuko TAKEBE
機能情報解析分野(客員): (3/31 廃止) Division of Biomedical Informatics 和漢医薬に含まれる代謝物質の高分解能マスペクトルデータを収集, 整理, データベース化して公開することによって代謝物質と薬理機能との関係を明らかにする。	西岡 孝明 (客員) Takaaki NISHIOKA			
漢方診断学分野: (4/1 設置) Division of Kampo Diagnostics 経験が重視される漢方医学固有の診断体系を基礎的および臨床的研究により客観化するとともに普遍的な教育カリキュラムを確立する。	柴原 直利 (4/1~) Naotoshi SHIBAHARA	小泉 桂一 (10/1~) Keiichi KOIZUMI	条 美智子 Michiko JO 山邊 典子 (特命) (7/1~) Noriko YAMABE	横澤 隆子 (4/1~5/30) Takako YOKOZAWA 山邊 典子 (4/1~6/30) Noriko YAMABE
4. 漢方診断学部門(寄): (3/31 廃止) Department of Kampo Diagnostics				
経験が重視される漢方医学固有の診断体系を基礎的および臨床的研究により客観化するとともに普遍的な教育カリキュラムを確立する。	柴原 直利 (客員) (~3/31) Naotoshi SHIBAHARA		条 美智子 (客員) (~3/31) Michiko JO	
5. 和漢薬製剤開発部門(寄) Department of Kampo-pharmaceutics				
和漢薬資源とその製剤を開発する基礎研究と漢方医療情報研究を通して地域連携研究と県民の健康福祉に貢献する。	佐竹 元吉 (客員) Motoyoshi SATAKE	紺野 勝弘 (客員) Katsuhiro KONNO	数馬 恒平 (客員) Kouhei KAZUMA	宮永 賢 (4/1~) Satoshi MIYANAGA

研究部門・附属センター	教授	准教授	助教	その他職員
6. 未病解析応用部門(寄)				
Department of Presymptomatic Health Promotion				
老化や未病のマーカーを使って、内と外からアプローチする伝統医学的養生法の有効性を検証する。同時に作用機序の科学的解明も試みる。これらにより、疾病予防や健康増進のための、個人差に応じた、統合的なオーダーメイド養生法を創生する。	上馬場 和夫 (客員) Kazuo UEBABA		許 鳳浩 (客員) Xu FENGHAO	小川 弘子 Hiroko OGAWA 八塚 幸枝 Yukie YATSUZUKA 盛安 真季 (~3/31) Maki MORIYASU
7. 附属民族薬物研究センター				
Research Center for Ethnomedicine				
世界各地の民族薬物の薬効評価及びその有効成分の解析並びに伝統医薬の医療文化・経済に関する研究を推進する。	門脇 真 (センター長 併任) (~7/20) Makoto KADOWAKI			
薬効解析部: Division of Biofunctional Evaluation 民族薬物の薬効解析、特に、アルツハイマー病、脊髄損傷、注意欠陥多動性障害といった難治性神経変性疾患をターゲットとして、これらの疾患制御に関わる生体の分子メカニズムの解明と、神経機能を正常に回復させる根本的治療戦略としての“神経回路網再構築薬”の開発を目指す。		横澤 隆子 (~3/31) Takako YOKOZAWA 東田 千尋 (6/1~) Chihiro TOHDA	東田 千尋 (~5/31) Chihiro TOHDA 久保山 友晴 (10/1~) Tomoharu KUBOYAMA	勅使川原 匡 Kiyoshi TESHIGAWARA 山邊 典子 (~3/31) Noriko YAMABE 針原 貴子 (~3/31) Takako HARIHARA
民族薬物資料館: Museum of Materia Medica 世界の諸民族の伝統薬物を蒐集、保存、展示するとともに、それらの学術情報を収載したデータベースを構築し、伝統薬物に関する共同研究を推進する。	小松 かつ子 (館長併任) Katsuko KOMATSU	伏見 裕利 (特命) Hirotochi FUSHIMI		出口 鳴美 Narumi DEGUCHI 青山 富美子 Fumiko AOYAMA
外国人客員部: Division of Visiting Professors 外国人研究者を招聘し、民族薬物に関する文献学的・生薬学的情報の整理と分析及び民族薬物に関する化学的・薬理学的研究を遂行する。				
国際共同研究部: Division of International Cooperative Researches 伝統薬物・薬用植物に関する国際的共同研究の推進を目的に、①タイ国との拠点大学方式による交流事業、②ミャンマー国との海外協力事業、及び③北京大学薬学院との共同研究拠点(International Collaboration Center for Conservation and Efficient Utilization of Medicinal Resources) 事業を展開する。				岩白 円 Madoka IWASHIRO
8. 共同利用・共同研究拠点 和漢薬の科学基盤形成拠点				
Joint Usage/Research Center for Science-Based Natural Medicine				
共同利用・共同研究と本研究所での独自研究を通して、成分および活性を網羅的に収集し、集積した情報を有機的に繋げるにより和漢薬データベースを充実、発展させる。また、和漢薬に含有される化合物群の構造と活性をケモ・バイオインフォマティクス及びシステムバイオロジー的視点から解析し、複合薬物である和漢薬が複雑系システムである生体内でどのように機能しているかを明らかにする事を目指している。	門田 重利 (拠点長併任) Shigetoshi KADOTA		李 峰 (特命) (11/17~) Feng LI	福井 英里 (6/1~) Eri Fukui

(寄) 寄附部門